

1	事業名称	家族で入笠山ハイキング			
2	新規・継続	継続	6年目		
3	趣旨	幼児、低学年児童をもつ家族が、入笠山ハイキングや信州高遠青少年自然の家での自然体験活動を行うと共に、子どもへの接し方や様々な体験活動の重要性に気づき、他家族との交流を通して親同士のネットワークの構築を図る。			
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日
		1回	5月31日(土)	～	6月1日(日)
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家、入笠山			
6	募集人数	80人			
7	共催・協力・後援				
8	参加者人数	49人			
9	参加者類型	中学生以上(21人)、小学生(21人)、小学生以下(7人)			
10	参加者地域	長野県(27人)、山梨県(2人)、愛知県(18人) 東京都(2人)			
11	参加者分析	長野県内だけではなく、山梨県、さらに東京都からの参加もあった。過去に本事業に参加した参加者が比較的多く、ハイキング活動を通して、子供の成長した様子を実感している家族の姿が見られた。県内はチラシ、県外はインターネットによる申込みが多い。			
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満
		80%	20%	0%	0%
13	アンケートの主な記述	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイキングは休憩時間がしっかりあり、とてもよかったです。体調不良者等の対応が適切でした。</li> <li>・適度な時間と距離の山で楽しめました。</li> <li>・天気に恵まれ、子供と楽しく歩きました。子どもたちもとってもよく歩き、満足感でいっぱいになったようです。</li> <li>・動物になって遊ぶ、よかったです。遊びの中にも体のトレーニングがたくさんあることを知りました。</li> <li>・同じ宿泊棟の方と仲良くなれてよかったです。</li> </ul>			
14	成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ハイキングを通して、自然のすばらしさ、雄大さを感じていただくことができた。</li> <li>・家族でのハイキングや施設での野外活動を行うことにより、自然体験活動の重要性や子供への関わり方について親が気づくことができたと考えられる。また、同年代の子供を持つ家族同士の交流では、子供だけでなく親世代もコミュニケーションの大切さや楽しさを実感できたと思われる。</li> </ul>			
15	今後の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度は、申込み後のキャンセルが多かった。地元小学校の運動会など、他のイベントとの重なりが原因と考えられる。今後は、学校行事や地区イベントの日程などを事前に確認し、参加しやすい期日を設定することが必要である。</li> <li>・湿原の植物の開花時期とずれていたため、草花を観察したり、楽しむことができなかった。</li> </ul>			
16	担当者メモ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全で確実な活動をするために、スタッフ間での情報共有を密にするとともに、緊急用車両、連絡体制、非常時の水、トイレ、ストック等の共同装備も準備し万全を期したため、体調不良者への臨機応変な対応が可能となった。</li> </ul>			

日程・時間	プログラム
1日目	
10:20~10:30	開会行事 10:40 バス乗車
11:40~14:40	入笠山ハイキング 御所平峠登山口までバスで移動、その後入笠山登山
14:40~16:10	ゴンドラリフトで富士見パノラマスキー場山麓駅に下り、そこからバスで帰所。
19:40~20:15	家族交流会 アイスブレイク、大型絵本の読み聞かせ
2日目	
9:30~11:00	親子で行う冒険の森での運動遊び活動（低学年）・施設内オリエンテーリング（高学年）
11:20~11:30	閉会行事



がんばるぞー！



アイスブレイク



大型絵本の読み聞かせ



入笠山山頂にて



冒険の森でうさぎになってぴょん！